



東洋医学公益講座

第30回

- ✓ 講師：羅 予澤
- ✓ 提供：未病予防協会
- ✓ 協賛：(株)ベンチャーバンク

先人の智慧、後世の階段

東洋医学生理学基礎 肺①

東西医学の視点の違い



東洋医学



西洋医学

- ✓ 西洋医学…解剖学から目に見える肉体や物に着目し原因を探す
- ✓ 東洋医学…自然哲学から目に見えない気によって体の機能は動かされているという考えが前提

『臓腑』に関する考え方

『東洋医学の考える臓腑』

生きている体を維持するための
様々な機能を意味する

『西洋医学の考える臓腑』

心臓・肝臓・肺など
肉体の臓器そのもの

臓腑に対する認識の相違

原因

翻訳における認識の誤解

例えば：

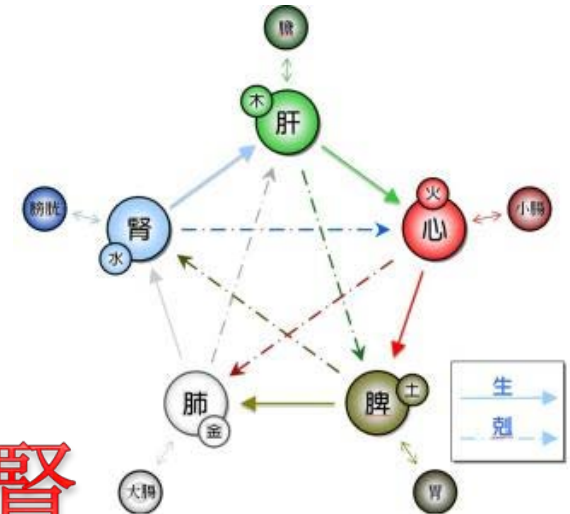
東洋医学の心 — 精神や神経の活動を
司る機能（心臓はその機能の一部）

西洋医学の心臓 — 血液循環を司る
肉体の臓器そのもの

東洋医学における『臓』の役割

五臓

肝・心・脾・肺・腎



臓 = 蔵

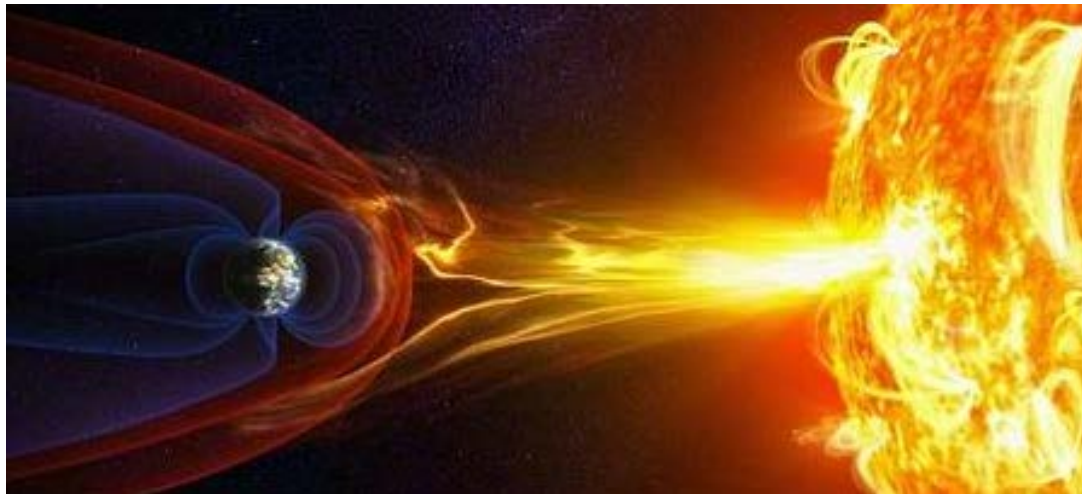
貯蓄・蓄積・貯め込む役割

肺の機能 その1

肺 = 【天幕】

地球を取り巻く大気層のような存在

- ✓ 体の保温保湿を担う
- ✓ 全身の気血水の循環を司る



肺(皮膚) = 体の大気層

全身の皮膚も肺の一部

気・熱・水の循環を司る

- ✓ 外からの邪気（冷熱など）体を守る
- ✓ 体温を一定のレベルに保つ（保温）
- ✓ 体内の水分の蒸発を防ぐ（保湿）

肺機能が弱ると

皮膚が弱る

- ✓ 熱の調節がうまくいかない
 - ・ 寒気、熱がり、多汗、無汗
- ✓ 皮膚のトラブルが多い
 - ・ アトピー、湿疹、痒み、乾燥

肺主気

体内で水蒸気や熱などの気の流れ

- ✓ 吸う...横隔膜が下がる＝皮膚が膨張
- ✓ 吐く...横隔膜が上がる＝皮膚が収縮

肺の運動による圧力で、気が流れる

肺は相傳の官

心（君主）のサポート役を担う

心臓の動きの原動力となる

肺機能の低下 → 心臓の機能低下

- ✓ 圧力の低下
- ✓ 酸素の供給不足



肺朝百脈

- ✓ 全ての経絡は皮膚を通じ、肺と繋がる
- ✓ 肺の呼吸活動は、全ての経絡の気の流れの原動力

皮膚の表面を優しく撫でるだけで
全ての経絡の気に影響を与える

肺主治節（ちせつ）

節を司る

- ✓ 24節気の変化に合わせて、
体の気を調節
- ✓ 季節の変化に合わせて、
体の気を調節
- ✓ 季節の変化における
関節の不調を調節